

HOME > イベント > 取締役・監査役大学講座

○ 取締役・監査役大学講座

取締役・監査役大学講座

コーポレートガバナンス・コード時代の取締役・監査役のためのガバナンス・トレーニング・プログラム

コーポレートガバナンス・コードでは、「取締役・監査役のトレーニング」に関する項目が設けられています(原則4-14)。トレーニングには様々な分野が考えられますが、「コーポレート・ガバナンスそのものの理解」が大変重要だと思われます。

日本のコーポレート・ガバナンスを推進する「日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット)」では、上場会社のボードメンバー(取締役・監査役)を主な対象として、コーポレート・ガバナンスのトレーニング・プログラムである「取締役・監査役大学講座」を開講しています。

本講座は、「ガバナンスコース」「企業価値コース」「役員責任コース」の3コースで構成され、ボードメンバーに求められるコーポレート・ガバナンスおよび周辺知識の習得の機会を提供しています。社内、社外を問わない、取締役、監査役の皆様向けのコーポレート・ガバナンスのトレーニングとしてご活用いただけます。

■ スケジュール

コース名	講座概要	開催時期
ガバナンスコース	<ul style="list-style-type: none"> ◎現代コーポレート・ガバナンス総論(日本コーポレート・ガバナンス研究所長 若杉敬明氏) ◎証券取引所が期待する上場会社のコーポレート・ガバナンス(東京証券取引所 安井良太氏) ◎取締役・監査役が知るべきガバナンスと内部統制(公認会計士 鈴木輝夫氏) ◎指名委員会の運営とサクセッションプランニング(ヘイコンサルティンググループ 高野研一氏) ◎報酬委員会の運営と役員報酬制度(ペイ・ガバナンス日本 阿部直彦氏) 	2015年 9~10月
企業価値コース	<ul style="list-style-type: none"> ◎取締役、監査役が押さえておきたい決算書類の基礎知識(早稲田大学ビジネススクール 西山茂氏) ◎企業価値創造とコーポレート・ファイナンス(首都大学東京大学院 松田千恵子氏) ◎過去の日本企業の買収失敗例に学ぶ、企業価値向上に資するM&A基礎知識(早稲田大学大学院・一橋大学大学院 服部暢達氏) ◎企業価値向上に資する株主との対話の実践(ジェイ・ユーラス・アイアール 高山与志子氏) 	2015年 11月
役員責任コース	<ul style="list-style-type: none"> ◎会社役員の義務と責任(主に会社法の観点から)(山口利昭弁護士) ◎会社役員の義務と責任(主に金融商品取引法の観点から)(須崎利泰弁護士) ◎取締役会の運営と会社役員の責任追及に関する実例(川村宜志弁護士) ◎株主代表訴訟/会社役員が直面するリスクとD&O保険(渡邊弘志弁護士/エース損害保険 中江透水氏) 	2016年 2月

■ 受講対象者

コーポレート・ガバナンスの確立を担うボードメンバー(取締役および監査役。社内・社外、常勤・非常勤問わず)を主な対象者としますが、企業の役員候補者、コーポレート・ガバナンスのさらなる向上を目指す実務担当者・取締役会事務局、日本企業のガバナンス問題に関心を寄せる市場関係者の方々へもお勧めいたします。

※各コースのみの受講も可能ですが、3コース全体の受講をお勧めいたします。

※3コース全体で75%以上出席された方にはCGネット所定の「修了証」を発行します。(ご欠席者には復習の機会を提供して出席と見なします)

※非会員の方は、CGネットにご入会されることで、実際に独立役員(社外取締役、社外監査役)を務める方々が集まり意見交換を行う「独立役員研究会」や、コーポレート・ガバナンスの最新事情を聞く「コーポレート・ガバナンス連絡会」などで、様々なサポートを受けることができます。(→ [ご入会はこちら](#))

「取締役・監査役大学講座」の過去の実績

2003年11月に「取締役大学講座(第1期)」としてスタートした本講座は、2005年10月~2007年3月(第2期)、2008年4月~2009年1月(第3期)、2010年4月~2011年11月(第4期)、2012年4月~8月(第5期)と徐々に内容を進化させながら、コーポレート・ガバナンス研修プログラム先頭を走りつづけています。

⇒【第1期】の実績はこちら

取締役会に参画する取締役として習得しておくべき知識として、「財務会計」「法務」「ガバナンス」の3コースを基礎編として、各コース10時間。また、企業の取締役会が直面するトピックスを取り扱う実践編を前半・後半に分けてそれぞれ8時間で構成しています。その他、特別編として、重要な経営課題である「刑事リスク」(8時間)、「M&A」(12時間)で開講しています。

⇒【第2期】の実績はこちら

日本企業の取締役会の実情に即して、①取締役として知っておくべき基礎知識に加え、②法制度等の改定に伴う最新動向、③グローバルな現代経営に必要不可欠な知識の習得、といった三つの視点から組み立てられています。

①として「財務会計」「法務」「経営戦略・ガバナンス」の3コース、②として「新会社法」「内部統制」「公開会社法制」の3コース、③として「コーポレート・ファイナンス」「統合リスクマネジメント」の2コース、各コースとも6～10時間の計8コースで構成されています。

⇒【第3期】の実績はこちら

「長期的企業(株主)価値向上に資するコーポレート・ガバナンスの構築」を意識した内容で、日本企業が取り組むべきガバナンス周辺知識の習得という観点から組み立てられています。

コーポレート・ガバナンスを様々な視点から学ぶ「ガバナンス構築編Ⅰ」、ガバナンスのコア機能となる社外取締役と指名、報酬、監査の三機能に焦点を当てた「ガバナンス構築編Ⅱ」、日本の取締役会のレベルアップが求められているコーポレート・ファイナンスとM&Aの基礎知識を習得する「企業価値向上編」の3コースを用意し、各コースとも8～10時間で構成されています。

⇒【第4期】の実績はこちら

第3期の流れを受け継ぎ、「長期的企業(株主)価値向上に資するコーポレート・ガバナンスの構築」を意識した内容で、日本企業が取り組むべきガバナンス周辺知識の習得という観点から組み立てられています。

コーポレート・ガバナンスを取り巻く諸環境を学ぶ「ガバナンス環境編」、コーポレート・ガバナンスの観点から取締役の責任と証券取引法制を取り扱う「ガバナンス法務編」、コーポレート・ガバナンスの確立に必要な独立社外取締役と、ガバナンスのコア機能とも呼べる、指名、報酬、監査の問題を取り扱う「ガバナンス構築編」3コースを用意しました。各コースとも8時間となっています。

⇒【第5期】の実績はこちら

コーポレート・ガバナンスを推進する三団体が統合して生まれた「日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット)」として、講座名を「取締役・監査役大学講座」と変更し、「グローバルに通用する経営の監視役(取締役・監査役)のためのガバナンス教育プログラム」と題して、取締役、監査役が知っておくべきコーポレート・ガバナンスと周辺知識の習得という観点から再設計しました。

コーポレート・ガバナンス及び周辺知識を学ぶ「ガバナンスコース」、ボードメンバーが取り組むべき企業価値向上について取り上げる「企業価値コース」、取締役、監査役としてコーポレート・ガバナンスの観点から役員の責任を全うするための知識を学ぶ「役員責任コース」の3コースを用意し、ボードメンバーに求められているガバナンス・リテラシーの向上の機会を提供しました。各コースとも8時間となっています。

⇒【第6期】の実績はこちら

コーポレート・ガバナンスの推進団体である「日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット)」では、上場企業のボードメンバー(取締役および監査役)を主な対象として、グローバルに通用するコーポレート・ガバナンスの教育プログラム「取締役・監査役大学講座」を開講しています。全3コース「ガバナンスコース」「企業価値コース」「役員責任コース」で、3コースとも8時間(4講×2時間)、計24時間のプログラムとなっています。

○ 取締役・監査役大学講座

[→イベントトップ](#)

ガバナンスコース

2015年6月1日のコーポレート・ガバナンス・コードの適用で、上場会社のコーポレート・ガバナンスの確立がますます求められるようになりました。コードの原則4-14では「取締役・監査役トレーニング」が謳われ、ボードメンバー（取締役及び監査役）のコーポレート・ガバナンスの理解が必須になっています。

「取締役・監査役大学講座」は、コーポレート・ガバナンスの推進団体として10年以上の歴史のあるCGネットが独自に開発したコーポレート・ガバナンスのトレーニング・プログラムです。「ガバナンスコース」「企業価値コース」「役員責任コース」の3コースで構成されます。

「ガバナンスコース」では、取締役・監査役が押さえておきたいコーポレート・ガバナンスのポイントをさまざまな角度から取り上げます。「ガバナンスコース」の全5回で学ぶ内容は、次のとおりです。

第1講：資本主義の基本的な考え方を含み、コーポレート・ガバナンスの理論的側面。

第2講：証券取引所が期待するコーポレート・ガバナンスと、上場会社の取締役、監査役が知って欲しい上場制度の意義。コーポレート・ガバナンス・コードの視点を交えて。

第3講：取締役、監査役が知っておくべきガバナンス及び内部統制の知識を企業不祥事の事例から考える。

第4講：上場会社が設置する指名委員会（任意委員会含む）の運営とサクセッションプランニングに関する知識。

第5講：上場会社が設置する報酬委員会（任意委員会含む）の運営と役員報酬制に関する知識。

■ ガバナンスコースのカリキュラム （開催場所／CGネット会議室：港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル12F）

コース名	講座概要
第1講 2015年9月30日（水） 18:30～20:30	『現代コーポレート・ガバナンス総論』 若杉 敬明 氏 ミシガン大学ロス・ビジネススクール三井生命金融研究所 理事 東京大学 名誉教授 日本コーポレート・ガバナンス研究所 所長 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事
第2講 2015年10月6日（火） 18:30～20:30	『証券取引所が期待する上場会社のコーポレート・ガバナンス ～コーポレートガバナンス・コードを踏まえて』（仮） 安井 良太 氏 東京証券取引所 上場部長
第3講 2015年10月14日（水） 18:30～20:30	『取締役・監査役が知るべきガバナンスと内部統制～企業不祥事例から考える～』 鈴木 輝夫 氏 公認会計士 花王、クボタ 社外監査役
第4講 2015年10月21日（水） 18:30～20:30	『指名委員会の運営とサクセッションプランニング』（仮） 田中 滋 氏 ハイコンサルティンググループ 特別顧問
第5講 2015年10月29日（木） 18:30～20:30	『報酬委員会の運営と役員報酬制度』（仮） 阿部 直彦 氏 ベイ・ガバナンス日本 代表取締役・マネージングパートナー

講師略歴

若杉 敬明（わかすぎ・たかあき）：第1講

ミシガン大学ロス・ビジネススクール三井生命金融研究所 理事、東京大学 名誉教授
日本コーポレート・ガバナンス研究所 所長、CGネット 理事

東京大学経済学部卒業、東京大学大学院経済学研究科修了。

東京大学経済学部助手、横浜市立大学商学部助教授、東北大学経済学部助教授、東京大学大学院経済学研究科教授を経て現職。

専門は、コーポレート・ガバナンス、コーポレート・ファイナンス。

過去には、㈱リコー、日本水産㈱で社外取締役、JFEホールディングス㈱と㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモで社外監査役を務めた経験を持つ。

日本のコーポレート・ガバナンス理論の最高権威。

安井 良太（やすい・りょうた）：第2講

㈱東京証券取引所 上場部長

1988年、横浜国立大学経営学部卒業。同年、東京証券取引所入所。上場審査部、決済管理部等を経て、2013年6月より現職。上場会社のコーポレート・ガバナンス向上や適時開示制度の見直しなどの上場制度の総合整備などに尽力している。現在、財団法人財務会計基準機構基準諮問会議委員、日本公認会計士協会品質管理委員会外部委員を務める。

鈴木 輝夫（すずき・てるお）：第3講

公認会計士、花王(株)、㈱クボタ 社外監査役

昭和48年 アーサーアンダーセン アンドカンパニー東京事務所入社

平成元年 英和監査法人(アーサーアンダーセン)代表社員就任

平成5年 監査法人朝日新和会計社と合併し、朝日監査法人代表社員就任

平成11年 金融庁(旧大蔵省)公認会計士第二次試験委員(平成14年10月まで)

平成15年 朝日監査法人 本部理事就任

平成16年 あずさ監査法人と合併、あずさ監査法人となり本部理事就任

平成17年 あずさ監査法人経営改革支援本部長就任

金融庁 企業会計審議会 内部統制部会 臨時委員就任(現在に至る)

平成18年 あずさ監査法人 専務理事就任、RA本部長就任

平成22年 あずさ監査法人 副理事長(平成23年8月まで)

平成24年6月 あずさ監査法人 退職、花王株式会社 社外監査役就任

平成27年6月 株式会社クボタ 社外監査役就任

その他外部活動 金融庁 企業会計審議会 内部統制部会 臨時委員

近著に、「新任役員のためのコーポレートガバナンスの基礎知識」(中央経済社、平成24年7月刊)

田中 滋（たなか・しげる）：第4講

㈱ヘイコンサルティンググループ 特別顧問

1946年生まれ。

東京大学工学部および同大学院修士課程終了。エール大学経済学修士。

通産省を経て、86年にヘイ・コンサルティング・グループに入社。90年から2009年まで、日本支社長、日本法人代表取締役社長、代表取締役会長を歴任、現在は特別顧問。

一方、1998年から2009年まで、11年間にわたりヘイ・コンサルティング・グループ本社の取締役。本社取締役会では、指名委員会委員もつとめ、本社CEO指名プロセスに従事。

日本においては、日本企業の人事制度と人材マネジメントの革新に取り組み、三菱商事、ソニー、武田薬品、トヨタなどでコンサルティングに従事。成果主義型人事制度およびコンピテンシーを日本に導入した。コーポレートガバナンス改革にも取り組み、東証1部上場企業2社で、指名委員、報酬委員をつとめた。

阿部 直彦（あべ・なおひこ）：第5講

ペイ・ガバナンス日本(株) マネージング・パートナー

20年を超える日米での経営者報酬コンサルティングの経験を有しており、本分野の、日本におけるパイオニア。

米国KPMG(ロサンゼルス)日系企業部ディレクター、タワーズペリン(現タワーズワトソン)のロサンゼルス(コンサルタント)を経て東京支店代表等を勤めた。2013年11月にペイ・ガバナンス日本株式会社の代表パートナーに就任。

日本経済新聞、朝日新聞、日経ビジネス、ウォールストリートジャーナル、ビジネスウイークなど多くのメディアに対して経営者報酬に関するコメント及び論文の提供実績がある。

日本取締役協会の経営者報酬ガイドラインのワーキンググループリーダーを、2002年以降継続して務める。

1985年 慶應義塾大学商学部卒業

米国ペイ・ガバナンスLLCは、旧タワーズペリン経営者報酬部門のパートナーが中心となって設立された独立系経営者報酬コンサルティング会社。大規模クライアントの領域でのマーケットシェアが高く、S&Pラーズキャップ500社では、創設4年で、第2位にランクされている。

ペイ・ガバナンス日本株式会社は、米国ペイ・ガバナンスのグローバルメンバーファームであり、日本初の独立系経営者報酬コンサルティング会社として設立された。

○ 取締役・監査役大学講座

[→イベントトップ](#)

企業価値コース

2015年6月1日のコーポレート・ガバナンス・コードの適用で、上場会社のコーポレート・ガバナンスの確立がますます求められるようになりました。コードの原則4-14では「取締役・監査役トレーニング」が謳われ、ボードメンバー（取締役及び監査役）のコーポレート・ガバナンスの関する理解が必須になっています。

「取締役・監査役大学講座」は、コーポレート・ガバナンスの推進団体として10年以上の歴史のあるCGネットが独自に開発したコーポレート・ガバナンスのトレーニング・プログラムです。「ガバナンスコース」「企業価値コース」「役員責任コース」の3コースで構成され、「企業価値コース」の全4回で学ぶ内容は、次のとおりです。

第1講：BS、PL、CFと財務分析、決算の機能についての基礎知識。

第2講：投資家の視線を意識した、企業価値向上に資するコーポレート・ファイナンスの基礎知識。

第3講：過去の事例分析から学ぶ、取締役、監査役が知っておくべきM&Aの基礎知識。

第4講：持続的な企業価値向上を目的とした株主との対話のあり方。

■ 企業価値コースのカリキュラム (開催場所/CGネット会議室：港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル12F)

コース名	講座概要
第1講 2015年11月5日(木) 18:30～20:30	『取締役、監査役が押さえておきたい決算書類の基礎知識』(仮) 西山 茂 氏 早稲田大学大学院商学研究科(ビジネススクール) 教授 アステラス製薬、ピジョン、ユニプレス 社外監査役
第2講 2015年11月11日(水) 18:30～20:30	『企業価値創造とコーポレート・ファイナンス～投資家が求めるリターンを意識した経営を行うために』(仮) 松田 千恵子 氏 首都大学大学院社会科学部 経営学専攻 教授 日立化成、フォスター電機 社外取締役、サトーホールディングス 社外監査役
第3講 2015年11月18日(水) 18:30～20:30	『過去の日本企業の買収失敗例に学ぶ、企業価値向上に資するM&A基礎知識』(仮) 服部 暢達 氏 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 客員教授 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 客員教授 みらかホールディングス、ファーストリテイリング、博報堂DYホールディングス 社外取締役
第4講 2015年11月26日(木) 18:30～20:30	『企業価値向上に資する株主との対話の実践』(仮) 高山 与志子 氏 ジェイ・ユーラス・アイアール マネージングディレクター、取締役 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット) 理事

講師略歴

西山 茂 (にしやま・しげる)：第1講

早稲田大学大学院商学研究科(ビジネススクール)教授、
アステラス製薬、ピジョン、ユニプレス 社外監査役

1984年早稲田大学政治経済学部卒。1990年ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA修了。

監査法人トーマツ、(株)西山アソシエイツにて会計監査・企業買収支援・株式公開支援・企業研修などの業務を担当したのち、2002年より早稲田大学。2006年より現職。学術博士(早稲田大学)。公認会計士。

主な著書に、企業分析シナリオ第2版(東洋経済新報社)、戦略管理会計改訂2版(ダイヤモンド社)、増補改訂版 英文会計の基礎知識(ジャパントイムズ)、入門ビジネス・ファイナンス(東洋経済新報社)出世したけりや会計・財務は一緒に学べ(光文社新書)などがある。

松田 千恵子 (まつだ・ちえこ)：第2講

首都大学東京大学院 社会科学部 経営学専攻 教授
首都大学東京 都市教養学部 経営学系 教授
日立化成、フォスター電機 社外取締役、サトーホールディングス 社外監査役

株式会社日本長期信用銀行にて国際審査、海外営業、買収ファイナンス等を担当後、ムーディーズジャパン株式会社格付けアナリストを経て、株式会社コーポレートディレクション、ブーズアンドカンパニー株式会社(旧ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン)でパートナーを務める。2006年にマトリックス株式会社を設立、企業経営と資本市場にかかわる研究、教育、アドバイザー等に注力する。2011年より現職。

日本CFO協会主任研究委員。経済産業省産業構造審議会産業金融部会委員、内閣府M&A研究会委員、行政改革推進本部 行政減量・効率化有識者会議 政策金融改革ワーキングチーム委員等を歴任。現在、国立大学法人東京外国語大学経営評議会委員、株式会社国際協力銀行リスクアドバイザー委員会委員、日立化成株式会社社外取締役、フォスター電機株式会社社外取締役、株式会社海外交通都市開発事業支援機構(国土交通省)社外取締役、サトーホールディングス株式会社社外監査役、著書「格付けはなぜ下がるのか～大倒産時代の信用リスク入門」(日経BP社)、「ファイナンスの理論と実務」(金融財政事情研究会)、「グループ経営入門」(税務経理協会)、「成功するグローバルM&A」(中央経済社)、「これならわかるコーポレートガバナンスの教科書」(日経BP社)等。講演・執筆等多数

東京外国語大学外国語学部卒、仏国立ポンゼ・ショセ国際経営大学院経営学修士

服部 暢達 (はっとり・のみち):第3講

早稲田大学大学院ファイナンス研究科客員教授

一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員教授

みらかホールディングス、ファーストリテイリング、博報堂DYホールディングス 社外取締役

【講師略歴】

1981年3月、東京大学工学部卒業。日産自動車を経て89年6月、マサチューセッツ工科大学(MIT)スローン・スクール経営学修士課程卒業。89年より03年まで米国系大手投資銀行にて日本におけるM&Aアドバイザー業務を担当。98年からはマネージング・ディレクターとして同業務を統括。日本リースのリース事業のGEキャピタルへの売却、第二電電・KDD・日本移動通信の三社合併、ロッシュによる中外製薬の買収、NKKと川崎製鉄の経営統合など日本企業が関係する大型案件を数多く手がけた。03年10月より一橋大学大学院国際企業戦略研究科にて、また09年4月より早稲田大学大学院ファイナンス研究科にてM&Aと企業価値評価の講義を担当するかたわら、有限会社服部暢達事務所を設立して、日本における株主価値増大に資するM&Aの研究・評論活動を行っている。

主な論稿

「M&A最強の選択」(日経BP社 2006年2月)

「LBOブーム到来は必然」(日本経済新聞 2006年4月、経済教室)

「検証 日本の敵対的買収」(日本経済新聞出版社 2007年7月)(共著)

「実践M&Aハンドブック」(日経BP社、2008年1月)

「日本のM&A「買い」に偏り、価値創出へ綿密な計画を」(日本経済新聞 2010年6月、経済教室)

「金融サービスのイノベーションと倫理」(中央経済社、2011年3月)(共著)

「日本のM&A 理論と事例研究」(日経BP社、2015年2月)

高山 与志子 (たかやま・よしこ):第4講

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) マネージングディレクター、取締役

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット) 理事

ジェイ・ユーラス・アイアール(株)のコンサルティング部門の責任者として、取締役会評価、コーポレート・ガバナンスに関するコンサルティング、機関投資家の意識調査・分析、企業の資本市場での評価測定、TOB・プロクシーファイト関連支援等のIR活動に関するコンサルティングを行う。

主要著書・論文として、『ステュワードシップとコーポレートガバナンス』(共著、東洋経済新報社)、「取締役会評価とコーポレート・ガバナンス—形式から実効性の時代へ—」『商事法務』2043号(2014年9月15日)など多数。

株式会社オートバックスセブン社外取締役。地方公務員共済組合連合会資金運用基本問題研究会委員。

東京大学経済学部卒。エール大学経営大学院卒MBA取得。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士号取得(社会情報学)。

○ 取締役・監査役大学講座

[→イベントトップ](#)

役員責任コース

2015年6月1日のコーポレート・ガバナンス・コードの適用で、上場会社のコーポレート・ガバナンスの確立がますます求められるようになりました。コードの原則4-14では「取締役・監査役へのトレーニング」が謳われ、ボードメンバー（取締役及び監査役）のコーポレート・ガバナンスに関する理解が必須になっています。

「取締役・監査役大学講座」は、コーポレート・ガバナンスの推進団体として10年以上の歴史のあるCGネットが独自に開発したコーポレート・ガバナンスのトレーニング・プログラムです。「ガバナンスコース」「企業価値コース」「役員責任コース」の3コースで構成され、「役員責任コース」の全4回で学ぶ内容は、次のとおりです。

第1講：会社法の観点からの取締役、監査役の義務と責任。

第2講：金融商品取引法の観点からの取締役、監査役の義務と責任。

第3講：取締役会の運営の背景にどのような法律や判例があるか、会社役員の責任追及に関する分析。

第4講：株主が会社を代表して会社役員に対して法的責任を追及する株主代表訴訟／会社役員に対する訴訟リスクに対応する会社役員賠償責任保険（D&O保険）

■ 役員責任コースのカリキュラム （開催場所／CGネット会議室：港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル12F）

コース名	講座概要
第1講 2016年2月2日（火） 18:30～20:30	『会社役員の義務と責任（主に会社法の観点から）』 山口 利昭 氏 山口利昭法律事務所 弁護士 (株)ニッセンホールディングス、大東建託(株) 社外取締役 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット) 理事
第2講 2016年2月9日（火） 18:30～20:30	『会社役員の義務と責任（主に金融商品取引法の観点から）』 須崎 利泰 氏 阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー弁護士
第3講 2016年2月17日（水） 18:30～20:30	『取締役会の運営と会社役員の責任追及に関する実例』 川村 宜志 氏 牛島総合法律事務所 パートナー弁護士
第4講 2016年2月24日（水） 18:30～20:30	『株主代表訴訟』(前半) 渡邊 弘志 氏 牛島総合法律事務所 パートナー弁護士 『会社役員が直面するリスクとD&O保険』(後半) 中江 透水 氏 エース損害保険(株) P&C本部フィナンシャルライン部長

講師略歴

山口 利昭 （やまぐち・としあき）：第1講
山口利昭法律事務所 弁護士
(株)ニッセンホールディングス、大東建託(株) 社外取締役
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット) 理事

⇒ [略歴はこちら](#)

須崎 利泰 （すぎき・としやす）：第2講
阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー弁護士

⇒ [略歴はこちら](#)

川村 宜志 （かわむら・よしもと）：第3講
牛島総合法律事務所 パートナー弁護士

⇒ [略歴はこちら](#)

渡邊 弘志 （わたなべ・ひろし）：第4講(前半)

牛島総合法律事務所 パートナー弁護士

⇒ [略歴はこちら](#)

中江 透水 (なかえ・とうすい):第4講(後半)

エース損害保険株式会社 P&C本部フィナンシャルライン部長

略歴:

1994年大手外資系保険会社に入社後、マーケティング、米国本社出向、経営分野の保険開発・引受等を担当すると共に、企業の危機管理に対するコンサルティングにも従事。2011年より現職。米国ケンタッキー大学卒業